

なんたん 社協だより

2016.3

第29号

すべての住民のごころが輝く福祉のまちづくり

設立10周年記念 南丹市社会福祉大会



ーありがとう10年の感謝をこめてー

多くのみなさまに支えられて10年。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

目 次

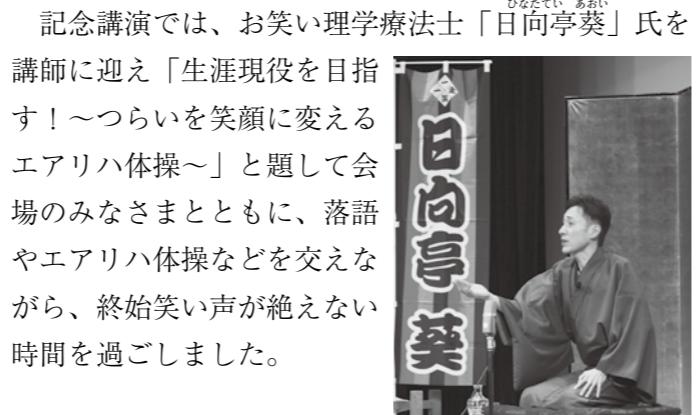
南丹市社会福祉協議会 設立10周年記念	2~5
『南丹市社会福祉大会』を開催いたしました。	
みんなの思いはなんたんへ（赤い羽根共同募金運動）	6~7
ふれあい委員さんにインタビュー	8~9
シリーズ「地域の未来をデザインする。」	10~11
住み慣れたふるさとで安心して暮らせる地域づくりを！／善意のご寄附	
男のレシピ／マスコットキャラクター紹介	12

「南丹市社会福祉大会」を開催いたしました。

(平成28年2月14日南丹市園部公民館にて)

平成18年1月1日の南丹市発足に伴い、同年1月4日に園部町、八木町、日吉町、美山町の4町社会福祉協議会が合併し設立してから10周年を迎えたことを記念し「南丹市社会福祉大会」を開催いたしました。

当日会場には約340名の方々にご臨席いただき、当会設立から10年の歩みを動画にてご紹介した後、当会福祉の向上に多大なるご尽力を賜りました方々に表彰状、感謝状を贈呈いたしました。



大会宣言

平成25年策定の第2期南丹市地域福祉計画及び平成26年策定の第2期南丹市地域福祉活動計画『なんたんふれあいプラン』に基づき、南丹市と南丹市社会福祉協議会は市民のみなさまと協働して諸施策に取り組んでいるところです。

社会福祉にかかわる私たちは、様々な地域の福祉課題に対応するため、それぞれの得意分野を活かし、住民と連携・協働して、知恵と工夫を凝らした活動を展開するとともに、「自助・共助・公助」によるバランスの取れた地域福祉の推進、さらには互助による「ご近所同士お互いさま」のつながりづくりに務めることが一層求められています。

この大会を契機に、私たちは、地域社会の一員としてそれぞれが自らの役割を自覚し、誰もが人々の温もりや優しさに囲まれ、住みなれた地域において、安全に安心して健康で暮らすことができる社会の実現を目指していくことを決意し、ここに宣言します。

平成28年2月14日

南丹市社会福祉協議会 設立10周年記念 南丹市社会福祉大会



日向亭 葵 氏の著書「毎日1分間のエアリハが転倒・認知症・生活習慣病の予防にガツン!と効く」「肩・腰・ひざの痛みにエアリハが効く!!」を、社協本所・各支所に貸出物品としてご用意いたしました。サロンや地域での活動に、どなたでもぜひご活用ください!!

受賞者紹介 (敬称略)

社会福祉活動功労者表彰

多年にわたり、福祉活動・ボランティア活動に従事され、社会福祉の向上・発展に大きく貢献された個人・団体

【個人】

西村眞喜子

あじさい園のブランド商品「ど・丹波」をはじめ、クッキーの品質向上を図り、販売拡大、ひいては利用者の工賃向上に貢献

【団体】

脳トレネット

認知症予防の為、脳トレ教室を定期的に開催され、地域での健康生きがいづくり、健康寿命の増進を目指した活動に取り組まれ社会福祉の向上・発展に貢献

レクリエーションサークル「なかよし」

定期的に練習会を開催し、各所でのつどいに出向き参加者と共に楽しみと笑いを生み出す活動により社会福祉の向上・発展に貢献

エコプロジェクト もったいない屋

地域住民からのリサイクル品などを必要な方につなぎ、その収益を社会福祉のために寄附するとともに地域住民の交流の場を提供する活動により社会福祉の向上・発展に貢献

もちもちの森

多年にわたり、絵本の世界を楽しむことで、感情の豊かさや世界観の広がりを定期的に子ども達に伝える活動により社会福祉の向上・発展に貢献

平屋地区地域福祉推進協議会

見守り活動の推進、気楽に交流し合える場づくり、福祉についての情報発信や担い手づくりなど様々な取り組みは他の模範となり、社会福祉の向上・発展に貢献

下吉田支え合いサロン

毎月定期的に集まることで地域の繋がりを保ち、自立への意欲や生きがいを高めるとともに、見守り活動の模範となる活動を継続、写真集を発刊するなど会員同士の交流を深めるための活動も積極的に取り組まれ、社会福祉の向上・発展に貢献

園部町民生児童委員協議会、八木町民生児童委員協議会、

日吉町民生児童委員協議会、美山町民生児童委員協議会

民生児童委員協議会として町単位で地域住民に密着した活動、特に社協ふれあい委員と連携した地域における生活課題への取り組みや安心安全な地域づくりのための見守りネットワークの構築および訪問活動等取り組まれ、社会福祉の向上・発展に貢献

社会福祉事業功労者表彰

多年にわたり、社会福祉事業（民生児童委員、南丹市社会福祉協議会理事・監事・評議員・委員など）に従事され、社会福祉の向上・発展のために大きく貢献された方

【民生児童委員】

浅田 祐子	井尻 正美	井上 韶	今井 恵一	岩田 政子	梅木 寧輔
大嶋久美子	大槻 昌伸	大坪 洋子	大秦 正	奥村智恵子	柏下 壽
木戸ウメノ	木村 明美	倉内喜久雄	下司 文一	國府 清美	小島ちよ子
坂田喜美代	高井 豊	高野 長司	田中 幹生	土井 保江	中川 晃
中川 純子	中村 吉郎	西村 信子	貫井 勤	人見 雅子	平田 敏
廣瀬 光子	藤井 明子	船越 重雄	船越 充子	前田 義明	松本多美子
三脇 晴子	村上 昇	村上不二子	森 政美	八木 節子	湯浅 幹男
横田 宗雄	吉田 儀正				

【社協理事・監事・評議員】

麻田 勝司	大川 真樹	小栗 宏	川勝多嘉志	川勝 守	近藤 正也
佐野 清	中野 愛子	湯浅 滿男	湯浅由美子	吉野 隆	匿名1名

【社協委員】

江藤 政行	大久保美保	大坪 良子	岡本 達樹	日下部純子	小島 嘉夫
小梶 忠行	小畑 弘	小林摩耶子	近藤 次男	塙田 道代	滝野かつ子
竹内 晶	田中 文代	谷 幸	中井 良子	中嶋 美好	松井 弘一
松原 寿子	宮田 洋二	村田 憲一	森 爰次	山岸 恵子	匿名4名

感謝状

【寄 附】

本会に対して社会福祉活動の増進に深いご理解をいただき地域福祉の推進に大きく寄与いただいた方

大狩 久子	勝山 直	川勝多嘉志	川勝 守	小馬 恭子	塙貝 友次
瀬口 裕	外田 勲	竹井 博	武中 陸美	竹村 淳	谷 文博
谷口猪一郎	寺田 弘和	仲井 資具	中川 幹也	中野 善文	仲村 篤史
野中一二三	廣瀬 健一	廣瀬 強	福山 正和	松下 哲雄	松本 節子
松本 福夫	道尾 利之	村田富三昭	八木 卓美	矢野 勇逸	吉田 昭
吉田喜美代	吉田 哲	カラオケサークル園城堰会	カラオケ同好会「道」		
京都山坊主	株式会社 親愛	聖家族幼稚園 保護者会	園部カラオケ同好会「園歌」		
園部ライオンズクラブ	園部ロータリークラブ	南丹市女性会			
南丹市チャリティゴルフ大会実行委員会	船枝愛友会	匿名1名			

感謝状

【災害復興支援】

平成25年9月に発生した台風18号災害の際、南丹市災害ボランティアセンターの災害復興支援活動における功績特に顕著な個人・団体

村田 清

災害ボランティアセンター開設当初から園部町横田地区入りし、横田サテライトセンターの閉所に至るまで、公民館に泊まり込み復興支援活動に従事、全国各地での災害ボランティア活動の経験を活かし、サテライトセンターにおいて中心的役割を果たされた

城南町花火大会実行委員会

開催の中止も検討された恒例の花火大会を、平成25年は被災地域を元気づけるために開催することされ、大会中復興支援募金活動を展開、集まった募金を災害ボランティアセンターに寄付された

南丹市園部町横田区

自らの地域が甚大な被害に見舞われた中、区自主防災組織(当時は立ち上げを目前に準備中)を中心に、災害ボランティアセンターと連携して現地サテライトセンターを開設、被災地域の復興支援活動に尽力された

京都府立園部高等学校

校内クラブ活動を通じて広く生徒たちに災害ボランティア活動を呼びかけ、クラブ単位で多数の生徒が災害ボランティア活動に従事、また後にボランティアクラブが中心となって募金活動を展開されるなど、被災地復興のために尽力された

南丹市立園部中学校

災害ボランティア活動に学校を挙げて参加を呼びかけられ、多数の教職員が複数回にわたり活動に従事され、被災地復興のために尽力された

南丹市立園部小学校

災害ボランティア活動に学校(当時の園部小学校、摩氣小学校)を挙げて参加を呼びかけられ、多数の教職員が複数回にわたり活動に従事され、被災地復興のために尽力された

南丹市立八木中学校サッカー部

クラブ活動の一環として所属の生徒が災害ボランティア活動に従事、当初の活動予定時間を大幅に延長し被災地復興のためにチーム一丸となって尽力された

宇治市消防本部職員

非番を利用し災害ボランティア活動に従事、一般ボランティアでは対応困難として活動を断念しかけていた箇所において、専門技能を存分に發揮し、専門家チームとして被災現場の復旧作業に尽力された

トヨタカローラ京都株式会社

災害ボランティア活動に会社を挙げて参加を呼びかけられ、多数の従業員が活動に従事、被災地復興のために尽力され、企業の社会貢献活動の模範となられた

佛教大学

独自にボランティアバスを立てられ、複数回にわたって多数の学生が災害ボランティア活動に従事、加えて、学生送迎バスの運転手も同校所有のバスを使用して一般ボランティアの被災地送迎活動に従事するなど、大学を挙げて被災地復興のために尽力された

みんなの思いは なんたんへ

南丹市の共同募金は このように使われています。



赤い羽根募金

赤い羽根募金は、地域の課題等解決に取り組む事業・活動を応援する募金です。
南丹市で集めた募金は、南丹市の様々な福祉活動に使われています

10%

11%

高齢者福祉活動に

障がい者福祉活動に

◆高齢者の生きがいづくりや健康増進につなげるため、南丹市老人クラブ連合会の活動に助成しています。

地域福祉活動に

73%

◆じぶんの町を良くする活動を募集し、地域の福祉活動に助成しています。

- ◎各区で取り組まれる地域防災活動
 - ◎子育て世代の仲間づくりの活動
 - ◎子ども会が実施する交通安全の活動
 - ◎地域に密着した情報を提供する活動
 - ◎高齢者の健康づくりと介護予防のための活動
 - ◎子どもたちへ地域文化を伝承する活動
 - ◎障がい者を支え、福祉への関心を高める活動など
- ◆サロン活動、ボランティア活動や福祉まつりにも助成しています。

児童福祉活動に

6%

◆南丹市母子寡婦福祉会など会員相互の親睦を深める活動に助成しています。

園部高等学校ボランティア部の皆さんに活動いただきました。



歳末たすけあい募金

歳末たすけあい募金は、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人々が、安心して暮らすことができるよう実施しています。

歳末激励金、歳末弁当や年末年始の地域交流事業、サロン活動などに助成しました。

美山町の「手芸ボランティアグループほのぼの」さんでは、歳末たすけあい募金の年末年始地域交流助成を活用して、ミニ花束マグネットを作成されました。歳末募金激励金事業の支援家庭に民生児童委員さんから届けていただいている。「ほのぼの」の皆さん、「受け取ってもらった方に温かい気持ちになってもらいたい」とお忙しいなか10年以上にわたってこの活動を続けられておられます。今年度については、障がい者施設へも届けられ、この思いが他町にも広がっていけばとお話をいただきました。



募金にご協力いただきました。ありがとうございました。(敬称略)

戸別募金：区長さんを通じて各家庭にご協力いただきました。

法人募金：企業や法人の方にご協力いただきました。

猪奥米油店、宇治電器工業㈱美山工場、男前豆腐店(株)、(株)あしだ、(株)マルゼン、八光館、クラウンヒルズ京都ゴルフ俱楽部、日吉ふるさと(株)、二九精密機械工業(株)八木工場、美山化成(株)、美山名水(株)、雪印メグミルク(株)京都工場池上製造所、吉田モータース

学校募金：生徒の皆さんにご協力いただきました。園部高等学校、農芸高等学校

職域募金：事業所の職員さんや学校の先生方にご協力いただきました。

園部小学校、園部第二小学校、八木西小学校、八木東小学校、殿田小学校、胡麻郷小学校、宮島小学校、平屋小学校、鶴ヶ岡小学校、大野小学校、知井小学校、園部中学校、桜ヶ丘中学校園部小学校分教室、八木中学校、殿田中学校、美山中学校、NPO法人はぴねすサポートセンター、南丹警察署、南丹市役所、南丹市社会福祉協議会

募金箱設置にご協力いただきました。(敬称略)

園部町：Aコープ園部店、園部船阪郵便局、園部郵便局、埴生郵便局、マツモト新そのべ店、道の駅新光悦村、ミニストップ園部町宮町店、るり渓温泉

八木町：神吉郵便局、公立南丹病院、八木郵便局、吉富郵便局、れいん房

日吉町：胡麻郵便局、郷の駅胡麻屋、スプリングスひよし、ゾンネ・ウント・グリュック、日吉郵便局、日吉四ッ谷郵便局、みとき屋、明治国際医療大学附属病院

美山町：芦生山の家、ゑびす屋、大野振興会、梶原商店、京都美山サラダ館、大丸油業、知井振興会、鶴ヶ岡振興会、鶴ヶ岡郵便局、美山かやぶき美術館、美山診療所、美山町自然文化村、美山中郵便局、美山虹の湖郵便局、美山名水(株)、美山ふるさと(株)、美山郵便局、平屋振興会、平屋郵便局、宮島振興会、ふらっと美山、(有)タナセン、(有)大野屋、(有)村おこしセンター知井の里、Y SHOPやまよ、(有)ヤマヨストアー

イベント募金：あじしろハッピーまつり、絵をかく会、大野地区老人クラブ連絡協議会、栄町区南丹市やぎふれあいふくしまつり元気づくり大会実行委員会、東胡麻夏祭実行委員会、平屋老人クラブ、美山福祉のつどい実行委員会、美山町ボランティア連絡協議会、NPO法人美山ほっとステーション（美山かやぶき寄席）、4町音訣ボランティア

27年度募金額

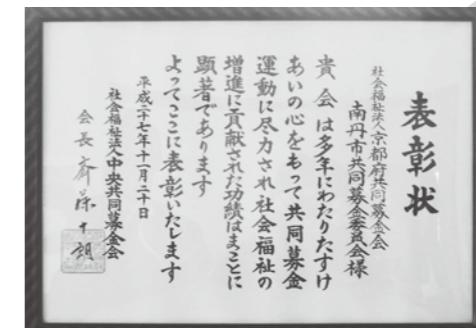
(2月末現在)

赤い羽根募金

4,423,066円

歳末たすけあい募金

3,686,038円



皆さまのご協力による
南丹市共同募金運動の取
り組みが、社会福祉に貢
献していると認められ、
中央共同募金会から表彰
されました。

共同募金は市民の皆さまの思いをつないでいきます。
ご協力ありがとうございました。



ふれあい委員さんにインタビュー！

—普段の活動の様子をお伺いしました—



園部町栄町
うえむら まさる
植村 勝さん

以前、区長をしていた時に、つながりや絆が薄くなっていると感じていました。

「ふれあい委員って何？」という区民が多いんです。そんな時に、亀岡のある自治会により目にして、自分達の広報誌づくりを思い立ちました。社協の広報セミナーにも参加し、栄町『遊友通信』が誕生しました。

ふれあい委員の紹介をしたり、区の取り組みやサークル、サロンの紹介をすることで、若い人からも自治会の行事や様子がよくわかると好評です。

最近は、ふれあい委員がサロン活動を手伝うことが定着してきました。サロンで「あんしんあんぜん情報」を配り、参加されていない見守りが必要な方には、民生児童委員さんに配っていただいている。

栄町は今年度、共同募金の「じぶんの町を良くする活動」助成で、車椅子と担架を購入し、防災訓練にも取り組みました。災害の時も区民で助け合えればいいなと思います。



防災訓練の様子



美山町川谷
たかはた ふみこ
高畠婦美子さん

ふれあい委員になってから、民生児童委員さんから声をかけてもらい、地元の虹の湖ネットワーク推進会議活動に参加するようになりました。そのことで、地域の方々との関係づくりができたなあと感じています。

訪問を続けたことで、「家に上がっていって！また来てよ！」と言ってもらえるようになりました。とくに、おひとり暮らしの方は、話し相手が来たと喜んでくださっています。

地区内での交流の機会が少ないので、民生児童委員さんから「サロンをやって欲しい」と声がかかり、思い切って取り組みました。地元の老人会に声をかけて参加者を募ったこともあり、参加者の半数は男性です。



サロンの様子

女性参加者は会食の準備を一緒にやってくれます。サロンはお昼の数時間ですが、終わった後も、みんな帰らずそのままおしゃべりして過ごしています。地元の高齢者の居場所になっていること、「次はいつするの？」と楽しみにもらっていることが、私の励みにもなっています。

ふれあい委員研修会

ふれあい委員の役割

先輩ふれあい委員との交流

職員紹介など



区民が少ない中、私にでもできることをという思いから、ふれあい委員を続けています。できる限りのことはさせていただこうという気持ちでいます。

民生児童委員さんとともに、見守り活動をしていますが、自分が回って少し心配だと思うお宅には、民生児童委員さんに「また、お尋ねしてほしい」等お伝えしています。

八木町では今年度から地域別懇談会が始まりました。民生児童委員さんとふれあい委員のふれあいネットワーク会議とはまた違い、区長をはじめ他の役員の方と「区」の話ができたことが、良かったと思います。

年に1回ふれあいネットワーク委員で、地域住民の交流を図るために開催している「ふれあい事業」の参加者は残念ながら女性ばかりです。男性には区の役員会などでお世話になっているのですが、こうした集まりへももっと来てほしいなと思います。

自分の家さえよければいいという風潮が見え隠れする世の中ですが、やっぱり近所づきあいが大切です。あたたかみのある地域になればと思います。



八木町神吉和田
たきの こ
滝野かつ子さん



日吉町中世木
たなか ふみよ
田中 文代さん

見守り活動には福祉委員の頃から携わっています。とはいって、昔からよく知っている人ばかりで、特別に「見守っている」という意識はありません。

区全体でふれあい委員は2名。私の担当している地域は、この10年の間に独居が増え、世帯数も半減してしまいました。しかも、雪の多い地域なので冬場はお子さんの所へ行かれるかたもあり、ますます寂しくなります。でも、たった一人でここにいるよりも、ご家族と一緒に安心しています。

訪問いろいろお話するなかで、まずは自分が元気でいなければと思うようになりました。見守り活動も、自分が元気であればこそ。それに私は運転免許を持っていないので、車で一緒に（訪問に）まわってくれる主人も元気だからこそ続けられると思っています。

この地域は全員が高齢者。これでも私は若い方になります。今までにあう間はふれあい委員をやり続けたいと思っています。

平成28年度「ふれあい委員研修会」予定

園部支所 4月23日 園部公民館 · 日吉支所 4月12日 社協本所
八木支所 4月16日 八木公民館 · 美山支所 4月20日 社協美山支所

《地域福祉推進モデル事業》

住み慣れたふるさとで安心して 暮らせる地域づくりを!

～あなたの地区でも社協と一緒に取り組んでみませんか！～

社協では、福祉の専門職による支援の充実と合わせて、支え合い・助け合いの地域社会土壤の育成に取り組んでいます。住民と専門職が日常的に連携して個人を支えていくことを目標とし、住民主体による福祉活動が継続して取り組んで行けるようにモデル地区として指定し、重点的に支援をしています。みんなの地域にもある「何とかしたい」を、ぜひ社協へお寄せください。



モデル地区
募集中！

★モデル地区最終年度となる平屋地区の活動を紹介します。★

平屋地区地域福祉推進協議会（モデル地区指定：平成25～27年度）

「つながろう、ささえあおう」を合言葉に
交流の場づくりと、困りごとへの支援を！

【協議会の立上げのきっかけは…】

日々の暮らしの中にある不安や課題から地域福祉の必要が高まり、平屋振興会の呼びかけにより地区内の関係者や各種団体からなる福祉推進協議会を平成22年3月に設立。

【主な取り組みのあゆみ】

①立ち上げ前に先進地視察研修を実施。
▶地区福祉組織を学ぶ。（福知山市へ）

②実態調査（平成23年、全世帯にアンケートを実施）

③調査結果を受けて集落別懇談会

▶「地区住民の交流と対話のできる場を育てていきたい。」



④オープンランチ

▶世代間交流を目的に、平成23年から毎年1回開催。



⑤ふれあいカフェ

▶歌声カフェとして定着。



⑥集落でサロンの立ち上げ

▶平成24年から働きかけ、この間に8サロンが生まれ、平成27年には地区内10集落すべてでサロンを実施。



⑦平成25年、モデル地区指定を受ける。

⑧先進地視察研修を実施

【テーマ】

- ・交流の場づくり…京丹後市へ
- ・住民参加型の生活支援…宮津市へ



⑨民生児童委員とふれあい委員の交流会を実施。

（平成26年度～）

▶高齢者等の見守り活動で連携。



⑩住民福祉活動計画「住み続けたい平屋プラン」の策定（平成27年4月）

実態調査、集落別住民懇談会や、5年間の活動のふりかえり等をふまえて、今後の道筋を策定。

▶地区をあげて取り組んでいく目標が明確に！



【今後に向け取り組んでいるテーマ】

⑪住民みんなの健康づくり

▶イスに座ってできる「平屋いきいき体操」を考案。



認知症予防やロコモ予防のために、老人会やサロンで取り組めるよう広めています！

⑫住民参加型の生活支援の検討

▶高齢者等の送迎など日常生活上の困りごとへの要望にどう応えるか。



役員会や地区懇談会でも話し合っています。

善意のご寄付ありがとうございました

平成27年12月1日～平成28年2月29日受付分

仲村 篤史 様	300,000円	亡父の供養に	川勝 康史 様	100,000円	亡母の供養に
菅井 正雄 様	100,000円	亡父の供養に	西田山里民謡会 様	5,000円	福祉のために
聖家族幼稚園 保護者会 様	10,000円	バザー収益金の一部を福祉のために	谷口 定己 様	100,000円	亡父の供養に
ひだまり 吉田 陽子 様	10,000円	福祉のために	薗田 博司 様	100,000円	亡父の供養に
もったいない屋 様	40,000円	福祉のために	近藤 福一 様	100,000円	亡妻の供養に
仲井 資具 様	10,000円	福祉のために	松本久二樹 様	100,000円	亡母の供養に
案山子の会 様	10,000円	福祉のために	湯浅 茂 様	100,000円	亡母の供養に
株親愛 代表取締役 安達 卓志 様	50,000円	福祉のために	平井美代子 様	100,000円	亡夫の供養に
吉竹 司 様	20,000円	福祉のために	堀江 長 様	100,000円	福祉のために
園部町グラウンドゴルフ協会 様	53,100円	福祉のために	匿名寄付 23件	801,000円	
つくりフェスティnSONOBE 様	9,000円	福祉のために	畠 修ふとん店 様	タオル 15ダース	
廣瀬 強 様	30,000円	福祉のために	上野 嘉雄 様	クリスマス用菓子 多数	
			八木町老人クラブ 連合会 女性部 様	タオル	福祉のために
			匿名預託 1件		



男のレシピ

～男性も作ってびっくり！ 少しの油で簡単にできちゃった～

デザート編



【材料】 4人分

大学いも

- さつまいも（中）…2個
- サラダ油…………大さじ4
- 砂糖……………50g
- 塩……………ひとつまみ
- 黒ごま…………適量（なければ結構です）



男の居場所で、料理教室を開催しています。「手早く簡単に作る！」で好評いただいています。

【作り方】

- さつまいもは食べやすい大きさに乱切りにして2~3分水にさらしておく。
- 厚手の鍋の中央に砂糖を入れ、次にサラダ油を入れて強火で熱する。
- 砂糖の周りが、ほんのりあめ色になり始めたら、ペーぺーでよく水を切ったさつまいもを加えて、中火で火が通るまで5~6分何回か混ぜながら炒め、つまようじを刺して火が通ったか確かめる。
- 最後に塩と黒ごまをパラパラと入れて混ぜる。
- ひっつかないようバラバラに器に並べる。

はじめまして

南丹市社協にマスコットキャラクターが誕生しました！

生まれた時から南丹市の地形柄をまとった奇跡のネコ。
性別は不明です。

ハートのしっぽでみんなの心をつなぐ南丹市社協の広報部長です。名前は「ニャンたん」です。

プロフィール

居住地：南丹市ふくしの森に住んでいます。
特技：みんなを笑顔にする。南丹市を転がって高速移動する
好物：れんげ米、山の芋、黒大豆、鮎
趣味：ふれあいいきいきサロンに通う

みんなの応援
よろしくニャン♥



ニャンたん

発行

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

本 所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地 電 0771-72-3220 FAX 0771-72-3222
(代表) メールアドレス na_shakyo@cans.zaq.ne.jp

園部支所 〒622-0014 南丹市園部町上本町南2番地22 電 0771-62-4125 FAX 0771-63-5606

八木支所 〒629-0134 南丹市八木町西田山崎17番地 電 0771-42-5480 FAX 0771-42-4412

日吉支所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内6番地4 電 0771-72-0947 FAX 0771-72-0732

美山支所 〒601-0722 南丹市美山町安掛下8番地 電 0771-75-0020 FAX 0771-75-0829

ホームページ 南丹市社協

検索